

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	2
事業名	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現			
目的	徳島県東部地域の15市町村で構成し圏域の広域的な観光地域づくりについて官民連携で取り組むイーストとくしまDMOが、マーケティング調査等の結果に基づき本圏域のリーチすべき対象とコンテンツ造りの方針を定め、「ニューツーリズムの推進」として観光コンテンツの造成や創業促進・人材育成、シビックプライドの醸成等に取り組むことで、「訪れてよし」「住んでよし」の観光づくりを推進し、圏域の所得の向上に取り組む。			
実施内容	地域DMO「イーストとくしま観光推進機構」において次の事業を実施。 1) 誘客促進のため15市町村ごとに1つ以上の体験型観光コンテンツを開発 2) 観光資源の魅力向上をテーマに定期的にワーキンググループを開催			
重要業績評価指標 (KPI)	(※事業評価については、別紙のとおりDMO法人の外部評価委員会において実施)			
達成度				

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2021年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	1,260,000	1,210,866	605,433	事業費の1/2

【2021年度の取組と課題】

<p>○体験型観光コンテンツ開発等支援 15市町村ごとに新たな体験型コンテンツ開発を目指している。 2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響でバラ園を閉館していたり、大規模改修で藍の館を閉館していたため観光関係のPRができない状況であった。</p> <p>○課題 町内観光事業者、DMO、市町村、商工業者といった多様な関係者が連携し、地域に眠る観光資源の発掘、磨き上げを図る必要がある。</p>

【今後の取組】

<p>コロナ禍により旅行価値観が変遷し、マイクロツーリズム（旅の近場化）が広がりを見せている中、地元への愛着を持ってもらうことを目的として商品開発を行っていく必要がある。</p> <p>日本遺産に認定された「阿波藍のストーリー」と絡めて町内の新たな魅力を発信するとともに観光誘客の推進及び体験型・滞在型のコンテンツの磨き上げのほか、SNS等による情報発信を行い、藍住町の観光コンテンツの露出の拡大を図っていききたい。</p> <p>また、地域資源の魅力が知られ、評価・シェアされていくことで観光交流人口の拡大を図り、経済が潤う地域を目指す。</p>
--

※藍住町地方創生推進会議の意見

(※事業評価については、DMO法人の外部評価委員会において実施)